

## 2014年度第10回「若手研究者支援プログラム」のお知らせ

奈良女子大学古代学学術研究センターは、第10回「若手研究者支援プログラム」を、8月30日(土)と31日(日)の2日間、奈良県立万葉文化館との共催で開催させていただきます。

今年は、「和歌と物語」を大テーマとして掲げ、『萬葉集』を中心に和歌と伝説・伝承・物語等との関係について掘り下げます。

第1日目の講演会では、まず、本学教授の奥村和美が、藤原定家作とされる『松浦宮物語』において萬葉歌がどのように利用されたのか、古次点の訓をもとに実態の解明に迫ります。さらに、大阪府立大学教授の村田右富実氏をお招きし、「伝説の容器としての韻文—歌は語れるのか—」と題して、伝説と和歌との関係について、いわゆる歌語り論を含めた先行研究への根本的な批判と再検討をしていただきます。

第2日目は、若手研究者による研究発表会です。留学生2名を含む4名が、『古事記』或いは『萬葉集』についての研究発表を行います。一昨年初めて行った公開指導方式が好評でしたので、今回この方式を再度こころみます。あらかじめ指名させていただいた講師の方に、事前に発表内容を検討していただき、論全体を見据えた上で種々の観点から集中的に御指導していただきます。発表者だけでなく参加した若手研究者にも、問題の立て方、資料の扱い方、論の進め方などを総合的に学んでいただくという趣旨です。

本プログラムは、主に語学・文学分野の若手研究者の研究支援を目的としていますが、広く専門の研究者或いは一般の方々の御参加も歓迎しております。年齢やキャリア、専門分野などを問わず、多数の方々のご参加くださることを期待しております。

なお、大学および研究機関等で御指導に当たられている先生方におかれましては、ぜひ大学院生・研究生諸氏にお知らせいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

奈良女子大学古代学学術研究センター

若手研究者支援事業担当 奥村 和美

記

第10回「若手研究者支援プログラム」

和歌と物語—『萬葉集』を中心として—

第1部 公開講演会

8月30日(土) 13時30分～16時30分 (於 奈良県立万葉文化館 受付12時30分～)

(無料)

『松浦宮物語』と『萬葉集』

講師 奈良女子大学教授

奥村 和美

伝説の容器としての韻文—歌は語れるのか—

講師 大阪府立大学教授

村田 右富実

※館内展示の観覧には別途入館料が必要です

○終了後、懇親会。専任教職員等4,000円 学生3,000円

第2部 若手研究発表会【公開指導方式】

8月31日(日) 10時～16時 (於 奈良女子大学 G棟202教室) (無料)

〈午前〉

アメノヌゴト考—古事記における位置づけ—

日本女子大学大学院生

加野 友理

講師 奈良女子大学准教授

尾山 慎

古事記の国譲り神話について

皇學館大学大学院生

管 浩然

講師 國學院大學准教授

谷口 雅博

〈午後〉

万葉歌の『部』の用法について

大阪府立大学大学院生

李 敬美

講師 関西大学教授

乾 善彦

物思ひ瘦せぬ 人の児故に—巻2・一二二歌の表現—

古代学学術研究センター協力研究員

阪口 由佳

講師 日本女子大学教授

平館 英子

## 申込方法

〈一般参加の場合〉 申込み手続き不要

### 〈研究者として参加の場合〉

☆大学院生以上の研究者を対象としています。

以下のフォーマットを御使用の上、下記宛先までメール・ファクシミリ・郵送のいずれかで、8月23日(土)までにお申込みください。郵送の場合は23日必着でお願いいたします。メールの場合は、標題に「若手研究者支援プログラム参加申込」と御記入ください。

申込宛先

〒630-8506 奈良市北魚屋東町  
奈良女子大学コラボレーションセンター205号室  
奈良女子大学古代学学術研究センター  
電話・FAX 0742-20-3779  
E-mail [kodaigaku@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:kodaigaku@cc.nara-wu.ac.jp)

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※  
2014年度 第10回「若手研究者支援プログラム」 参加申込書

氏名(ふりがな)

所属大学/機関名

所属学部/部署名

学年/役職

郵便番号

住所

電話・FAX番号

メールアドレス

参加日程(○印を記入してください) 8月30日 ( ) 30日懇親会( )  
8月31日 ( )

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※  
以上